「人生 100 年時代を見据えた阿木公民館における生涯学習について

提 言 書

令和4年10月

阿木公民館運営委員会

はじめに

日頃より、阿木公民館の事業につきまして、格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。

今般、阿木地区において少子高齢化及び過疎化が急速に進展する中で、生涯学習の推進に向けた新たな公民館事業に関し次のとおり提言しますので、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この提言にあたり、現在取り組まれている公民館事業・活動を否定するものではなく、また職員の皆様の取組みに強い不満があるわけではありません。阿木公民館ばかりではなく全国の公民館の課題等を考慮した上で、さらなる充実した事業・活動を期待しての提言であることを最初に申し上げておきます。

I. 全国の公民館の現状について

- (1)最近の公民館事業の傾向は、個人の生きがいや趣味・教養のための学習に力を入れ、地域の課題解決に向けた取組がおろそかにされる傾向が強まったことで、改めて公民館の役割や今後のあり方が問われるようになっていく。
- (2)その一方で、人生 100 年時代に向けて社会が大きな転換点を迎える中であって、生涯学習の重要性は一層高まっている。
- (3)かつて経験したことのないような自然災害や新型コロナウイルス感染症の発生など、これまでの意識や生活様式を変えざるを得ない状況となり、公民館事業・活動も柔軟な対応が強く求められている。

II. 阿木地区の状況について

まず初めに、この提言をすることとなった主な要因を説明すると、次のとおりです。

(1)阿木地区の少子・高齢化の進展

- ・市内でも有数の高齢化及び少子化が進み、さらには人口減少が顕著に進んでいる地域である。
- ・今後、地域コミュニティや公民館活動を支えている層が減少することが想定されるとともに、その一方で、よりよく生きるための生涯学習事業、生活支援など多岐にわたるニーズが増加している。

別添資料:人口、子どもの数、高齢化率の推移 ⇒ 過去50年のデータを公民館に依頼

(2)歴史・文化等の資料の保存

- ・一人世帯、高齢者のみ世帯が急増し後継者がいない家庭が増える中で、こうした家庭に保存されている貴重な歴史・文化等の資料が消失する可能性があります。
- ・公民館事業等で過去において作成された阿木の歴史・文化など様々な資料・書籍類が極めて少なくなり、その存在さえ分からなくなることも予想されます。

(3)阿木事務所・公民館の職員の状況

- ・阿木地区に在住又は阿木地区出身の職員が皆無で、阿木の歴史・文化、地域事情に詳しい職員が少なく、今後も阿木地区在住職員等が途切れることなく配置されることは期待できません。
- 過去においては、公民館職員が阿木の歴史・文化等を伝承する役割も担っていたように思います。

(4)施設整備と今後の活動

- ・地域にとって待望の阿木公民館(阿木交流センター)施設が完成したので、今後はこの素晴らしい施設に相応しい充実した「学びの場」「活躍の場」「集いの場」を提供する事業を実施することが急務と考えます。

Ⅲ. 公民館事業等の提案事項について

前述したように全国並びに阿木地区の状況を踏まえたうえで、公民館事業・活動について次のとおり提言します。

1. 運営に地域事情、住民の意向を反映

(1) まちづくり、人づくりの拠点としての公民館を目指すためには、まず、阿木地区の事情や住民の意向を反映し、住民主体による公民館運営を行う。

そのためには

- ・住民ニーズや地域課題を把握し、住民や関係団体等がこれを共有
- ・公民館運営委員会の活性化と活用
- ・企画・運営への住民参加

(2) アンケートの実施等により、住民からの意見、要望、苦情などを運営に活かし、事業の質やサービスの向上を図る。

*参考: 令和3年度実施「阿木高齢者福祉アンケート調査」の結果

○「地域の行事や活動などに参加していますか」について

ボランティア活動 5.6% 公民館講座 5.1% その他(回答略)

○「参加してみたい講座や活動」について

野菜づくり講座 11.1% 健康づくり講座 10.4% 料理教室 6.5% レクリエーション活動 5.8%

その他(回答略)

2. まちづくりのための活動

- ・公民館はまちづくりの拠点施設であり、地域の様々な課題に取り組み、地域の発展の中心的役割を担う。
- ・阿木地区には、健康づくり、高齢化社会への対応、子育て支援、歴史・文化資源の掘り起し、地域コミュニティの推進、支え合う社会の実現など様々な課題があると思われます。
- ・まず、自分たちで地域の実情を調べ、課題を整理する。そして、その解決方法や地域の将来像を考え、さらにはその実現のための方策を検討する。
- ・こうした活動により、多くの住民がまちづくりに関心を持ち、そして活動に参画する中で地域力を向上させ、また、結果として公民館活動への参加者を増加させる。

3. 伝統文化・歴史の掘り起しと保存・継承

- ・歴史や文化(文化財を含む。)は阿木地区にとって極めて重要な財産であり、これを皆で共有し、これを活かしたまちづくりを進めることが重要です。
- ・阿木地区の歴史・文化資源を掘り起こし、学ぶことにとどまらず、記録として残し、これを公開する取組みが必要です。
このことにより、あらためて阿木の魅力に気づき、愛着を感じることもつながります。
- ・公開する取組みとしては、掘り起こし、収集した情報をデータベース化して後世に伝承可能な状況にするとともに積極的にホームページで公開する。

4. 幅広い学習情報の収集及び提供

- ・情報通信技術の革新が急速に進んでいる中で、情報収集をパソコン、スマートフォン、タブレットで行う人が非常に

多くなっている。

- ついては、インターネットを活用して、行政情報、公民館の学習情報等の提供は勿論のこと、地域の情報を発信して阿木の魅力、課題について関心を持ってもらう。
- 阿木の歴史・文化の資料(例えば安岐歌舞伎、古文書・古地図、明知線・阿木駅、阿木高等学校の歴史など)、地域の代表的な花木、豊かな自然など様々な情報を収集し、これをデータベース化して誰でもいつでも見えるように公開する。
- なお、現在すでに公開されているものが多数あるが、これらの内容についてもより充実し、また検索しやすくする。

5. 学校との連携・協働

- 地域と学校(阿木高等学校を含む。)がパートナーとして、ともに子どもたちを育て、地域を活性化するという形の協働を目指し、公民館がその中核的な役割を果たすようにする。
- 阿木高等学校の地域貢献、地域課題を対象とした実習・研究等の学習プログラムについて、積極的に協働して進める。
- 公民館と学校が連絡・協議する場を設け、定期的に情報交換し、地域と学校の協働活動を推進する。

6. 子育て支援(みちくさ教室のさらなる充実等)

- 子育てについて学んだり悩みを語り合ったりする場、親子で交流できる場を支援する。
- 夏休み等の長期休暇中の居場所づくりや体験の場づくりを積極的に行うとともに、学校での教科学習を地域で支援する取組みについても検討などを進める。
- 放課後、すぐに帰宅できない子どもにとって安全な場、また、宿題を見てもらう場としての役割を公民館が果たせば、保護者にとっては非常に安心感のある、また魅力的な地域となる。
- 家庭教育に関する学習の場を設け、また学習情報を提供することにより、家庭教育を支援する。
- 子どもの読書活動の推進が重要視されており、公民館みちくさ図書室の充実を図るため、市立図書館との連携を一層強化する。
- こうした様々な取組みの結果、地域全体で子どもを育てる体制が、どこの地域よりも優れていると評価される活動を目指す。

7. 健康づくり支援

- 健康寿命を延ばして生涯活躍できるよう、文化・スポーツ活動等に関する講座を積極的に開設するとともに自主的な活動を支援する。
- 中高年の健康増進を図るため、地域包括支援センターと連携して介護予防教室や料理教室などを開催する。
- 子どもの「食育」に対する取組みが重要視されており、行政と小・中学校で取り組んでいる「減塩プロジェクト」の取組みに参画し、この活動を一層推進する。
- 国保阿木診療所で取り組んでいる「暮らしの保健室」の活動と連携し、医療・予防活動を推進する。
- 健康は地域社会における人々のつながりとも関係していると言われており、健康寿命の延伸の学びと同時につながりづくりや地域での活躍を支援する。

8. 長寿社会に対する取組み(高齢者の活躍と生きがいの創出)

- 人生100年時代の到来により、高齢者の活躍が今後のキーワードとなってくる。
- 高齢者は支えられる存在ではなく、地域が抱える課題を解決する「地域社会の主役」として活躍できることが望まし

い。

- ・そのためには、長い人生を健康に生きるための「学び」ばかりではなく、仕事、地域活動、趣味など自己を高めるための「学び」が極めて重要であり、公民館の役割が一層大きくなっている。
- ・高齢者が学習活動や地域活動を通じて生きがいを感じ、豊かな人生を送ることができるような事業・活動に取り組む。

9. 地域の防災力強化

- ・甚大な自然災害が毎年、全国で発生することから、災害・防災に関する学習会、防災士の学習会、防災ボランティアの学習会などの防災教育に取り組む。
- ・これらの取り組みにより、自助・共助を意識した地域の防災・減災の力を向上させる。
- ・災害時に避難所となった場合の備えや公民館の施設を活かした被災者支援が迅速にできるよう、常に危機管理体制を整える。

10. 人材の育成と活躍の場

- ・地域のニーズを把握し、地域で活躍する人を育てることを意図した学びの場をつくる。
- ・地域愛にあふれた方、地域活動に熱い方を公民館事業に取り込む。
- ・優れた潜在人材を掘り起し、こうした方々がまちづくりで活躍できるよう、様々な活躍の場を設ける。
- ・地域で活躍する人に対し、情報の提供、必要な組織への橋渡し、企画作りへの協力、発表の場などの支援を行う。

11. ボランティアの育成と活用

- ・奉仕活動、体験活動に関する学習の機会及び学習情報の提供により、ボランティアが活躍できる環境を整える。
- ・パソコンやインターネットが普及したことから、IT ボランティアを育成し、その人たちによる運営でパソコン教室や相談活動を展開し、また公民館の情報発信に関する業務の支援を受ける。
- ・古文書・古地図調査など郷土資料調査を進めるボランティアを育成し、こうした調査の推進を図り、そして公開する。

IV. 取組みの実現手法について

- 人生100年時代を見据えて、一人ひとりが生涯を通じて学び、活躍できる環境を速やかに整える必要があります。しかし、厳しい財政事情においては、十分な事業予算の確保や職員体制の充実は望めないのが現状と思われます。については、公民館事業をより一層充実するためには、やはり新たな手法による取組みが必要不可欠です。その手法の一案として、次の事項が考えられます。

(1) 住民の参加

住民参加による地域づくり、主体的な学習活動を推進する。

- ・生涯学習推進員(仮称)の設置
- ・公民館ボランティアの育成と活用
- ・有償ボランティアの活用(⇒活動に参加するボランティアのモチベーションの維持が可能)
- ・高齢者が培ってきた知識や技能の活用(結果として、このことが高齢者の生きがいに繋がる。) など

* 参考:阿木高齢者福祉アンケート調査結果

「ボランティアや地域活動など地域の助け合いの活動」について

機会があれば是非参加したい 10.4% 参加してもよい 40.4% 既に参加している 7.5%

その他(回答略)

(2) 未来づくり計画(仮称)の策定 (⇒Ⅲ. 2. まちづくりのための活動に関連して)

まちづくり活動をするに当たり、阿木の将来像を考え、未来のビジョンを作ってその実現に向けて取り組む。

(3) 事業推進の評価

毎年、事業がどれだけ進んだかを評価・公表するとともに、次年度以降の事業改善に活かすことで、公民館自身が活性化する。

(4) 民間活力の導入

・今回の提言については、現在の公民館職員体制で実現可能であれば是非速やかに実行していただきたい。

それが地域にとってもベストと考えます。

・しかし、厳しい財政状況下において、公民館運営経費(人件費を含む。)が現状維持又は削減により実現が困難であれば民間の活力・能力を取り入れるべきと考えます。

その手法の一案として、次の事項が考えられます。

1) 指定管理者制度の導入

公民館の指定管理者制度導入は全国で実績があり大変有効な手段と思われるが、長期にわたる導入は指定管理料の増加、市の方針との乖離、事業の硬直化などの弊害が生じる可能性がある。

よって、阿木公民館においては、導入するとしても短期間で目指すべき事業の道筋をつけることとし、指定期間は3年程度が望ましいと考えます。

2) 業務委託の推進

迅速かつ効率的に推進すべき事業については、委託が望ましいと考えます。

おわりに

●何かに挑戦したい、何かを学習したいと思うとき、地域で活躍したいと思うとき、暮らしの中や地域で困りごとが出てきたとき、誰かとつながり何かを始めたいと思うとき、また、地域の課題解決に必要な情報が得たいときに、まずは公民館へ行ってみようと誰もが思えるような公民館が望まれます。

●そのためには、柔軟な発想に基づく変革を行い、公民館をより良く発展させることが何よりも重要と考えます。生涯学習及び社会教育に携わる皆様が、速やかに行動に移されることを期待します。

～ そうだ 公民館へ行ってみよう！～